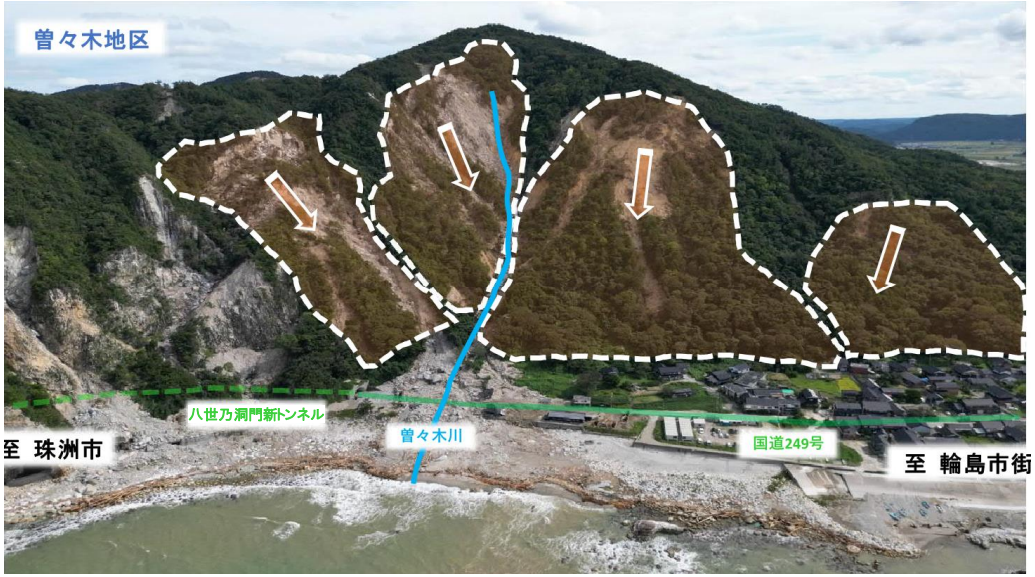
汎用遠隔操縦装置「サロゲート」を活用した県外からの無人化施工

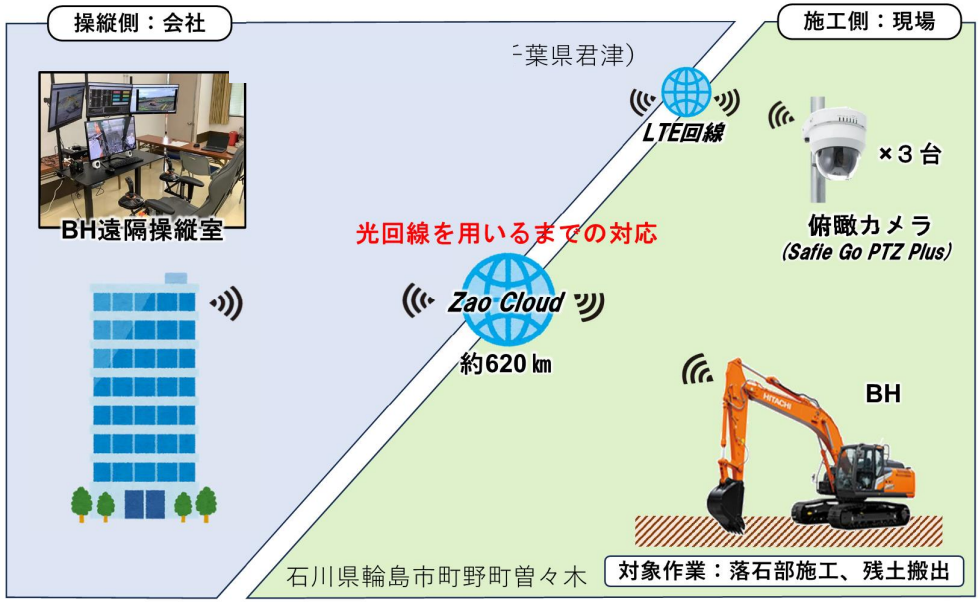
- 工 事 名：令和６年度能登半島地震地すべり（曽々木･渋田）緊急復旧工事
- 活用企業：株式会社 大林組
- 開発企業：株式会社 大林組、大裕 株式会社（NETIS番号 KT-200123-A）

○国道２４９号（曽々木工区） 施工者：（株）大林組

・令和６年能登半島地震及び同年９月の大雨により甚大な地すべり被害が発生した石川県輪島市町野町曽々木地区では、落石等による二次災害の恐れがある環境下で災害復旧工事を実施している。
・県外のオペレーターが地元からでも重機を遠隔操縦できるようにすることにより、安全かつ効率的に災害復旧工事を推進するとともに、オペレーター不足の解消に寄与する。



曽々木地区の全景



遠隔操縦概要図（(株)大林組提供）

遠隔操縦により稼働する無人バックホウ

千葉県君津の操縦室

遠隔操縦状況（操縦室内の操縦席）